



## 愛のボトル

イザベラ・Q, 10才  
(アルゼンチン、ブエノスアイレス州)

わたしは学校のプロジェクトを手伝って「愛のボトル」を作りました。愛のボトルとは、使いすてのプラスチックでいっぱいにしたプラスチックボトルです。ビニールぶくろなど、一度使ってすてられるプラスチックを中につめるのです。各家庭で愛のボトルを作り、学校に持って行きました。ボトルは、プラスチックれんがを作る団体に送られました。作ったれんがは、屋外のベンチ

や、生活にこまっている人々の家を作るのに使われます。  
わたしの家族は毎日たくさんのプラスチックを使っていて、それは実際のかんきょう問題だと実感しました。かんきょうを大切に始めたいと思いました。でも、一人ではできませんでした。そこで、教会の人たちにも助けを求めました。指導者やワードのビジョップと話をしました。ビジョップはわたしに、

天のお父様とイエス・キリストがわたしたちのためにそうぞうしてくださった世界を大切にすることを助けるために、あなたはどんなことをしていますか？

プロジェクトについて集会で話すように言いました。多くの方がプロジェクトに参加してくれました。数か月後、わたしたちは愛のボトルを100本以上集めました！

このプロジェクトは今も続いています。ボトルをたくさん集めたら、家族や初等協会の友達と一緒に回収場所に行きます。そこにボトルを置き、それが建築の材料に変わります。

わたしはこのプロジェクトが好きです。神様がわたしたちのためにそうぞうしてくださったこの世界を実際に助けることができるんだと感じます。自然や動物を大切に、尊重する助けになります。自然を大切にすることは、わたしが救い主にしがうことのできる一つの方法です。ほかの人を助ける方法でもあり、それも好きなのところです。

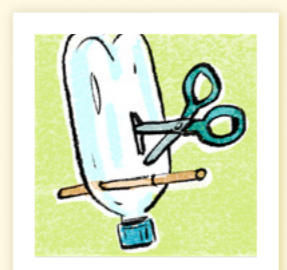
時々、愛のボトルを作る時間を取るのが簡単でないこともあります。でも、わたしたちは変わり、日々小さなよい行いをするを選べると感じます。また、「大きな」ことを行うためには、ほかの人たちの助けが必要だということも学びました。わたしたちはほかの人たちにいきょうをあたえ、その人たちがこの変化に加わるのを助けることができます。変わり、人々を助け、世の中でよい行いをすることは、イエス・キリストの福音の大切な部分だと、わたしは信じています。●

イラストレーター: エミリー・プロセカ



## とり鳥のえさボトル

空のプラスチックボトルを使って、とり鳥のえさボトルを作りましょう！



1. プラスチックボトルを洗い、ラベルをはがします。そして、かわかします。
2. 大人の人に、ボトルの底に小さなあなを二つ開けてもらいます。両方のあなにひもを通し、輪にして結びます。
3. ボトルの両側の、ふたの近くに、小さなあなを二つ開けます。両方のあなにぼうを通して、鳥が立つ場所を作ります。
4. それぞれの側のぼうの上に、2インチ（5センチ）の細い切りこみを入れます。鳥はそこからえさを食べます。
5. 指であなをふさいで、だれかに鳥のえさをボトルの口から注ぎ入れてもらいます。
6. ボトルのふたをしめ、慎重にひっくり返します。ひもを使って、えさボトルを木のえだに結びつけます。